

埼玉大学大学院理工学研究科
博士前期課程

学生募集要項

【令和5年4月入学】

【令和4年秋期入学】



【出願期間】

令和4年6月6日(月)～10日(金)

令和4年7月11日(月)～15日(金) *物理学PG(筆記希望者のみ)

【Application period】

June 6(Mon.) - June 10(Fri.), 2022

July 11(Mon.) - July 15(Fri.), 2022 *Program in Physics (Applicant writing test)

目 次

I. 【令和5年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項	1

II. 【令和4年秋期入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項	12

III. 【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 学生募集要項	13

IV. 【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 社会人入試学生募集要項	18

V. 【令和5年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 理工学教員入試学生募集要項	23

VI. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	27

VII. 入試情報の開示について	27

本研究科所定の用紙(綴じ込み)

入学志願票・受験票・写真票

振込依頼書

振込金受付証明書等貼付用紙

履歴書(外国人留学生用) ——外国人留学生は必ず提出

志望調査書(物理学 PG 志願者(口述試験希望者をのぞく)、数学 PG 志願者、情報工学 PG、機械科学 PG、地球環境における科学技術の応用と融合 PG 志願者のみ提出)

志望理由書(分子生物学 PG・生体制御学 PG・物理学 PG・基礎化学 PGの口述試験志願者のみ、機械科学 PG の口述試験・筆記試験志願者)

受験許可書

入試情報開示請求書

(以下、個別審査申請用)

入学試験出願資格個別審査申請書(様式1) ——個別審査申請者のみ提出

経歴書(様式2) ——個別審査申請者のみ提出

入学希望理由書・別紙(様式3) ——個別審査申請者のみ提出

理工学研究科博士前期課程では、学部における専門基礎教育をもとに、専門分野のみならず基礎から応用にわたる広い関連知識の習得を目指す高度専門教育を通して、独創性のある国際的なレベルの研究者へ成長するための基礎を備えた人材又は国際的な知識基盤社会において指導的役割を果たすことができる高度専門職業人を育成することを教育研究上の目的としています。

[入学者選抜の基本方針]

博士前期課程において専門的な教育や研究指導を受けて、高度な実験・実習を実施していくためには、自然科学や工学の各分野における基礎学力が必要とされます。そのため、学生の受け入れに際しては、学部教育で身につけた基礎学力の判定を目的とした、筆記試験（または口述試験）を各プログラムで実施します。さらに、知識の応用力や勉学に対する姿勢が十分であるかを見るために個別面接試験を実施します。

[求める学生像]

理工学研究科博士前期課程の各プログラムでは、次のような学生を受け入れ、教育・研究指導を行います。博士前期課程教育を受ける適性のある人を積極的に受け入れるため、複数の入学試験を実施します。

分子生物学 PG

1. 微生物および植物などを研究材料に、生命の基本的なしくみと生理現象を遺伝子レベルで解明することに興味を持ち、将来、研究者や、生命・環境・生活などの分野で専門職業人を目指す人
2. 生命科学分野の専門知識を身につけ、社会における自らの役割を認識し、誠実、勤勉に自己研鑽することによって、より高度な人格形成を目指す人

生体制御学 PG

1. 生物学及び関連した専門分野の基礎的な学力を有し、さらに多様な生命現象に対する幅広い専門知識と高い問題解決能力を身につけることを目指す人
2. 修得した生命科学に関する専門知識と思考力、創造力を生かし、生命科学が関わる多様な分野において、研究者あるいは技術者としての活躍を目指す人
3. 高い専門性と広い視野を身につけ、さらに語学力、コミュニケーション力を養い、国際的な活躍を目指す人

物理学 PG

1. 自然科学の基礎となる物理学の基本とその思考方法およびコミュニケーション能力を身につけている人
2. 自然の諸階層における物質構造や量子科学についての基本的理解と柔軟な思考力・能動的な学術的研究能力を持つ国際的にも通用する研究者となることを目指す人
3. 自然の体系的な理解に基づく研究開発能力を備えた高度な技術者となって実社会に貢献することに意欲を持つ人

基礎化学 PG

1. 創造性に富む優れた研究者、教育者あるいは専門技術者を目指すとともに、社会貢献に対して情熱と意欲を持つ人
2. 化学分野の基礎知識の他に、コミュニケーション能力および基本的な語学力を有し、将来に対する明確な目標を持つ人
3. 化学における未踏の課題に対して興味を持ち、独創的かつ先端的研究を行うことに意欲を持つ人

応用化学 PG

1. 化学・物理など自然科学の基礎科目に関する十分な学力と応用化学の専門科目に関する基礎学力を有する人
2. 化学および応用化学分野に関する、日本語および英語による基礎的なコミュニケーション能力を有する人
3. 材料の合成・高機能化・分析及びそれらに必要な技術に関連する応用化学の専門分野に興味を有し、高度な専門知識と豊かな創造力を持つ技術者・研究者として社会に貢献すべく、勉学に励む意欲に溢れる人
4. 化学および関連分野における製品開発など先端的研究に挑戦し、社会に貢献する意欲に溢れる人

数学 PG

1. 解析学・代数学・幾何学などに関する基礎学力を身につけており、それらの最先端の研究や自然・社会現象を理解するための数理に知的な好奇心を持ち、論理的思考を重視し、学習、研究、研究発表などに積極的に取り組もうとする人
2. 数理的知識や論理的思考力を生かして教育界や情報関連分野をはじめとする社会の諸分野で活躍しようとする人
3. 最先端の研究に寄与して国際的なレベルでの活躍を目指す意欲的な人

電気電子物理工学 PG

1. 数学、物理、英語などの基礎学力および電気電子物理工学に関する専門基礎知識を有する人
2. 電気・電子・光・情報通信・材料デバイス技術分野に興味を持ち、専門知識と能力を向上させ、独創的かつ先端的研究開発を積極的に行う意欲を持つ人
3. 優れた人間性を備え、国際的に活躍し、社会へ貢献する意欲のある人

情報工学 PG

1. 数学、情報分野の基礎知識とコミュニケーション能力を有する人
2. 興味を持つテーマに関する専門的な知識を有する人
3. 技術者・研究者として社会に貢献することに意欲的な人
4. 最先端の知識を吸収し、また発信することに意欲的な人

機械科学 PG

1. 数学、物理と機械工学分野の専門科目における十分な学力を有する人
2. 自然科学の諸問題に興味を持ち、先見性と洞察力を持って研究に取り組むことができる人
3. 豊かな創造力と熱意をもって新たな研究課題に挑戦しようとする意欲を有する人
4. 技術者・研究者として社会に貢献することを目指す人

環境社会基盤国際 PG

1. 環境・社会基盤工学に関する最新かつ高度な専門知識に興味を持つ人
2. 社会の要求する問題に対し、自ら課題を探究し解決することに強い意欲を有する人
3. データ収集・分析を行い事象の本質を探究する姿勢を持つ人
4. 論理的な思考能力とプレゼンテーション能力を身につけたい人
5. 多様な人や組織と連携を取りながら国際的に活躍という熱意のある人

地球環境における科学技術の応用と融合 PG

融合教育プログラムでは、SDGsに代表される持続可能な社会の構築に貢献できる人材として、高い専門性と人文・社会科学を含めた幅広い知識を有する人材を育成するため、以下の1～3に関して積極的に学ぶことを望む学生を受け入れる。

1. 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に強く興味を持つ人
2. SDGsの中でもエネルギー・資源・環境分野において目標達成に貢献することを目指す人
3. 海外諸国の自然・文化の特性を理解し、国際社会で活躍することを目指す人

【注意】

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては出願後、入試方法ならびに入試日程に変更が生じる場合があります。

入学試験実施に関する変更は、理工学研究科のホームページにてお知らせします。

出願の際は、下記 URL から最新情報を確認してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>



I. 【令和5年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項

1. 募集人員

専攻名	定員	内訳	PG名	学力検査	募集人員	備考
生命科学専攻	55名	27名	分子生物学 PG	口述試験	15名程度	
				筆記試験	12名程度	
		28名	生体制御学 PG	口述試験	16名程度	
				筆記試験	12名程度	
物質科学専攻	114名	25名	物理学 PG	口述試験	10名程度	
				筆記試験	15名程度	
		32名	基礎化学 PG	口述試験	10名程度	
				筆記試験	22名程度	
		57名	応用化学 PG	口述試験	47名程度	
				筆記試験	10名程度	
数理電子情報専攻	142名	20名	数学 PG	口述試験	13名程度	
				筆記試験	7名程度	
		70名	電気電子物理工学 PG	口述試験	60名程度	
				筆記試験	10名程度	
		52名	情報工学 PG	口述試験	32名程度	
				筆記試験	20名程度	
機械科学専攻	70名	機械科学 PG	口述試験	50名程度		
			筆記試験	20名程度		
環境社会基盤専攻	55名	環境社会基盤国際 PG	口述試験	30名程度		
			筆記試験	25名程度		

備考：募集人員に留学生を含む。

(注1) **希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。相談がない場合には、指導教員の定年退職等により受け入れない場合があります。**

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和5年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び令和5年3月31日までに22歳に達する者

※ 出願資格(6)については、11ページ「出願資格(6)の出願資格審査について」を参照してください。

個別の出願資格審査を行うのであらかじめ申し出て、指定する書類を令和4年6月1日(水)までに提出してください。物理学 PG (筆答希望者のみ) は令和4年7月6日(水)までに提出してください。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

口述試験を希望する者(以下「口述試験希望者」という)の出願資格は、次の全て(①～④)の条件を満たす者とする。

- ① 2. 出願資格(1)～(6)に該当する者
(応用化学PGについては令和5年3月卒業見込みの者のみとする。)
- ② 学業及び人物ともに優れている者
- ③ 合格した場合、入学を確約できる者
- ④ 事前に入学後の指導予定教員と協議している者

3. 出願手続

(1) 出願期間

・令和4年6月6日(月)～10日(金)まで。受付時間は、9時から16時まで。
分子生物学PG、生体制御学PG、物理学PG(口述受験希望者のみ)、基礎化学PG、応用化学PG、数学PG、電気電子物理工学PG、情報工学PG、機械科学PG、環境社会基盤国際PG

・令和4年7月11日(月)～15日(金)まで。受付時間は、9時から16時まで。
物理学PG(筆記受験希望者のみ)

(2) 提出書類等

提出書類等	注意事項
入学志願票・ 受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のものをご指定欄に貼付してください。 ※「口述試験」又は「筆記試験」のいずれでの受験を希望するか必ず申告してください。
卒業(見込)証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した卒業(見込)証明書 ・出願時に本学の理学部・工学部に在籍している者は提出の必要はありません。 ・本学他学部等に在籍している者、過去に本学を卒業した者は提出してください。(厳封は不要です。)
成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した成績証明書 ・本学の在籍者及び過去に本学を卒業した者も提出してください。(厳封は不要です。) ・大学に編入している場合は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。 ・高等専門学校の本科から専攻科に進学した場合は、本科の成績証明書も提出してください。
検定料	30,000円 払込方法(次のいずれかの方法で払込してください。) ① 本研究科所定の「振込依頼書」により、最寄りの金融機関から振込んでください。 ② コンビニエンスストアで払い込んでください。 別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※ 出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期(出願期間前でも可能)に検定料を振込んでください。ただし、国費外国人留学生は、在籍大学で発行される「国費外国人留学生証明書」を提出してください。これにより検定料が免除されます。 (注)検定料の免除について 学資負担者が令和4年4月1日から出願時まで、災害救助法が適用された地域(災害救助法適用地域)で被災した場合、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。(この場合は、検定料を払わないでください。) また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
振込金受付証明書等添付用紙	本研究科所定の用紙に検定料を振り込んだ金融機関等が証明した「振込金受付証明書」又は「収納証明書」を貼付したもの。
志望調査書	物理学PG、数学PG、情報工学PG、機械科学PG志願者は提出してください。ただし、物理学PG志願者のうち口述試験希望者は提出する必要はありません。それぞれの所定用紙に記入してください。
志望理由書	分子生物学PG、生体制御学PG、物理学PG、基礎化学PGの口述試験希望者、機械科学PGの口述試験希望者、筆記試験希望者は提出してください。研究科所定の用紙に記入してください。

TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等	分子生物学 PG、生体制御学 PG、物理学 PG、基礎化学 PG、応用化学 PG、電気電子物理工学 PG、情報工学 PG、機械科学 PG および、環境社会基盤国際 PG の志願者(詳細はそれぞれ 6 頁、7 頁、8 頁、9 頁を参照)は、出願時または学力検査時に提出してください。応用化学 PG の口述試験希望者は、必ず出願時に提出してください(口述試験当日は受理しません)。なお、一度提出したスコア票を差し替えることはできないので注意してください。 また、口述試験でスコア票の提出を要しない生体制御学 PG、基礎化学 PG、情報工学 PG および、機械科学 PG の志願者については口述試験の結果により、筆記試験と面接試験が免除になった場合、提出する必要はありません。 (注) TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等の提出の免除について <u>英語能力が十分高いことを公式の書類で証明できる(例、英語圏の大学を卒業している)場合には、TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票等の提出を免除される場合があります。必ず事前に理工学研究科支援室理工研係 (TEL 048-858-3430) に照会してください。</u>
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に住所、宛名及び郵便番号を明記し、94 円切手を貼付したものの。
外国人留学生は、履歴書(本研究科所定の用紙)及び住民票(在留資格及び在留期間の明記されたもの)を提出してください。 なお、事情があり住民票を提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。その場合、受験当日にパスポートを持参し係員に提示してください。	
国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」(在籍大学で発行)を添付してください。	

- (注意) ① 提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。
② 学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を提出してください。

※TOEIC・TOEFL、IELTS スコアについて

PG 名	有効とする成績	提出時期 (いずれかの時期で提出してください。)		
		出願時	口述試験時	筆記試験時
分子生物学 PG	4 年以内	○	○	○
生体制御学 PG	4 年以内	○		○
物理学 PG	4 年以内	○	○	○
基礎化学 PG	3 年以内	○		○
応用化学 PG	3 年以内	○		○
電気電子物理工学 PG	3 年以内	○	○	○
情報工学 PG	3 年以内	○		○
機械科学 PG	3 年以内	○		○
環境社会基盤国際 PG	3 年以内	○	○	○

【注意】分子生物学 PG、物理学 PG、電気電子物理工学 PG および、環境社会基盤国際 PG の志願者のうち、口述試験希望者は口述試験にスコア票の提出が必須となりますので必ず出願時又は口述試験時に提出してください。応用化学 PG の志願者のうち、口述試験希望者は、必ず出願時にスコア票を提出してください(口述試験当日は受理しません)。

(3) 出願方法

入学志願者は、上記の提出書類等を所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。
なお、提出書類を郵送する場合は、書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(4) 書類提出先

338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について(27 ページ参照)

5. 選抜方法等

(1) 入学者の選抜は、各 PG で定める学力検査(口述試験、筆記試験)、TOEIC 又は TOEFL、IELTS、面接及び成績証明書を総合して行い、下記(4)検査科目及び日時に定める各 PG が定める口述試験、若しくは筆記試験及び面接試験により実施します。

成績証明書は基礎資料として利用します。(ただし、応用化学 PG、環境社会基盤国際 PG は得点化しません。(3) 配点についてを参照)

なお、口述試験希望者には、成績証明書及び志望理由書(分子生物学 PG、生体制御学 PG、物理学 PG、基礎化学 PG、機械科学 PG)により審査の上、「口述試験」又は「筆記試験」のいずれの試験を受験するかを大学から7月1日(金)までに受験票とともに郵送します。

(2) 面接について

① 面接の形式

複数の試験委員による個人面接とします。

② 評価基準

研究に対する意欲や関心、専門分野の知識等について、総合的に評価します。

(3) 配点について

専攻名	PG 名	試験種別	口述試験	筆記試験	英語(注)	面接試験	成績証明書	合計
生命科学専攻	分子生物学 PG	口述試験	600		200			800
		筆記試験		500	200	100		800
	生体制御学 PG	口述試験	500					500
		筆記試験		300	100	100		500
物質科学専攻	物理学 PG	口述試験	500		100			600
		筆記試験		300	100	200		600
	基礎化学 PG	口述試験	900					900
		筆記試験		600	200	100		900
	応用化学 PG	口述試験	200		50		50	300
		筆記試験		200	50	50		300
数理電子情報専攻	数学 PG	口述試験	200					200
		筆記試験		100		100		200
	電気電子物理工学 PG	口述試験	500		200			700
		筆記試験		400	100	200		700
	情報工学 PG	口述試験	500					500
		筆記試験		300	100	100		500

専攻名	PG 名	試験種別	口述試験	筆記試験	英語 ^(注)	面接試験	成績証明書	合計
機械科学専攻	機械科学 PG	口述試験	300					300
		筆記試験 (科目群 A)		400	100	100		600
		筆記試験 (科目群 B)		500		100		600
環境社会基盤専攻	環境社会基盤国際 PG	口述試験	200		100		200	500
		筆記試験		100	100	200	100	500

(注) 英語の評価は TOEIC 又は TOEFL、IELTS の成績を用いて行います。各 PG で指定された試験の成績を未提出の場合は 0 点として取り扱います。

(4) 検査科目及び日時

I. 口述試験 (PG により TOEIC 又は TOEFL、IELTS の成績を含む。)

a. 実施日程 令和 4 年 7 月 9 日(土) 9 : 00

b. 試験内容

PG 名	試験内容
分子生物学 PG	現在行っている卒業研究の背景、目的、方法、進捗状況、考察、今後の展開等について Power Point 等を用いて発表する (8 分間)。その後、発表内容や関連する基礎知識等について口頭試問を行う。
生体制御学 PG	卒業研究等について、その背景、目的、方法、結果と考察、さらに今後の方向性・展開などの内容を PowerPoint 等を用いて、10 分間程度で発表する。その後、発表内容に関連した基礎知識等について口頭試問を行う。
物理学 PG	1) 専門科目(物理学全般)について口頭試問により学力を検査する。 2) 卒業研究・志望動機等に関する質疑応答
基礎化学 PG	現在行っている卒業研究の背景、目的、進捗状況と考察、今後の展開などについて、Power Point 等を用いて発表する(10 分程度)。その後、発表内容に関連した口頭試問を行う。
応用化学 PG	卒業研究の内容を、研究の背景、目的、方法、結果と考察、今後の展開と期待される成果の順にまとめて、PDF ファイル(スライド 8 枚程度、サイズ 2 MB 以下)を用いて発表する(7 分程度)。発表内容に関連した口頭試問を行う。
数学 PG	1) 現在行っている卒業研究の内容、または今迄に学習して特に興味・関心を持った数学の定理、理論などについて説明および質疑応答を行う。 2) 本専攻を志望する動機および希望する研究テーマについて質疑応答を行う。 3) 単位の取得状況および数学の基礎知識について質疑応答を行う。
電気電子物理工学 PG	現在行っている卒業研究(卒業研究を行っていない場合には興味を持っている研究)の内容について Power Point 等を用いて発表する(5 分程度)。発表内容に関連した口頭試問を行うとともに基礎学力を検査する。その他、志望理由や将来の希望などについて問う。
情報工学 PG	以下の内容を A4 用紙 1 枚(両面使用可)程度にまとめて提出する。提出資料をもとに発表内容に関連した口頭試問を行う。 1) 卒業研究の内容：研究の背景、目的、方法、結果と考察、今後の計画 2) 本専攻を志望する動機と希望する研究テーマ
機械科学 PG	出願時に以下の内容を志望理由書として提出する。 提出資料をもとに 1) 2) の項目について質疑応答を行う。 1) 卒業研究等の内容：研究の背景、目的、方法、研究結果もしくは今後の計画 2) 本専攻を志望する動機、希望する研究テーマ、研究に関する意欲、関心

PG名	試験内容
	また、機械工学に関する学力に関連して 3) 単位取得状況、専門科目の基礎知識 についての質疑応答もしくは口頭での試問を行う。
環境社会基盤国際 PG	1) 卒業研究等(卒業研究を行っていない場合は現在興味を持っている研究)の内容について Power Point を用いて口頭発表を行い(5分以内)、その後、発表内容に関連した口頭試問を行う。 2) 100語程度の英語で研究テーマ名とその要旨を2分程度で口述させる。

口述試験の TOEIC 又は TOEFL、IELTS の成績は、当該 PG の「筆記試験」で定める評価方法と同様に換算する。

- c. 「筆記試験」・「面接試験」受験免除者の発表
「筆記試験」・「面接試験」受験免除者を口述試験当日、本学理工学研究科の掲示板に発表する。なお、口述試験により「筆記試験」・「面接試験」受験免除者にならなかった者は次の「筆記試験」及び「面接試験」を受けてください。

II. 筆記試験及び面接試験(◎印は、外国人留学生に対する措置を示す。PGにより試験期日が異なるので注意してください。)

生命科学専攻(分子生物学 PG)

期日	8月25日(木)		8月26日(金)
時間	10:00~12:00	12:00~12:30	10:00~
試験※ 科目	専門科目(500点)		面接試験のための資料作成 面接(100点)
	分子生物学、生化学、分子・細胞生理学		

○専門科目の筆記試験に続けて、面接試験のための資料として、卒業研究や現在興味を持っている研究テーマなどについて、30分間で記述させる。

※「英語」の評価は TOEIC(IPを含む)または TOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。

本学への成績提出日の4年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生は TOEIC の成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)または TOEFL の成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後返却する。TOEIC または TOEFL の成績は、英語 200 点満点に換算して評価する。

生命科学専攻(生体制御学 PG)

期日	8月25日(木)		8月26日(金)
時間	13:00~15:00		13:00~
試験※ 科目	専門科目(300点)		面接(100点)
	生物学(生物学に関する論述試験)		

※「英語」の評価は TOEIC(IPを含む)または TOEFL(PBT、iBT、ITP)、IELTS の成績を用いて行う。

本学への成績提出日の4年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生は TOEIC の成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)または TOEFL の成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)、IELTS の成績(原本およびそのコピー1部)を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後返却する。TOEIC または TOEFL、IELTS の成績は、英語 100 点満点に換算して評価する。

物質科学専攻(物理学 PG)

期日	8月31日(水)		9月1日(木)
時間	13:00~14:30	15:00~16:30	10:00~
試験※ 科目	専門科目 (150点)	専門科目 (150点)	面接 (200点)
	物理学 I	物理学 II	

◎英語又は日本語のいずれでの出題を希望するか志願票に申告すること。

◎解答は、日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価は TOEIC(IP を含む)または TOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。

本学への成績提出日の4年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生は TOEIC の成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)または TOEFL の成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後返却する。TOEIC または TOEFL の成績は、英語 100 点満点に換算して評価する。

物質科学専攻(基礎化学 PG)

期日	8月25日(木)	8月26日 (金)
時間	13:00~16:00	13:00~
試験※ 科目	専門科目 (600点)	面接 (100点)
	物理化学、有機化学、無機化学(分析化学を含む)	

◎英語又は日本語のいずれでの出題を希望するか志願票に申告すること。

◎解答は、日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価は TOEIC(IP を含む)または TOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生は TOEIC の成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)または TOEFL の成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後返却する。TOEIC または TOEFL の成績は、英語 200 点満点に換算して評価する。

物質科学専攻(応用化学 PG)

期日	8月25日(木)	8月26日 (金)
時間	13:00~15:30	13:00~
試験※ 科目	専門科目 (200点)	面接 (50点)
	物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、化学工学の5問の中から、4問を選んで解答する。	

◎解答は日本語で行う。

※「英語」の評価は TOEIC(IP を含む)または TOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生は TOEIC の成績(公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部)または TOEFL の成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)の原本およびそのコピー1部)を出願時または筆記試験時に提出すること。なお、口述希望者は、必ず出願時に提出すること。原本は面接後返却する。TOEIC または TOEFL の成績は、英語 50 点満点に換算して評価する。

数理電子情報専攻(数学 PG)

期日	8月25日(木)	8月26日(金)
時間	13:00~15:00	10:00~
試験科目	専門科目 (100点)	面接 (100点)
	「線形代数学」と「微分積分学」に関する4問に解答する。 「代数」「幾何」「解析」に関する基礎的な問題3問の内1問を選択し解答する。	

数理電子情報専攻(電気電子物理工学 PG)

期日	8月25日(木)	8月26日(金)
時間	13:00~15:00	13:00~
試験科目	専門基礎科目 (400点)	面接 (200点)
	数学(線形代数、ベクトル解析、微分積分、微分方程式)に関する2問に解答する。「電気回路」「電磁気学」「量子力学、熱・統計力学」に関する問題3問の内2問を選択し解答する。	

◎解答は日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価はTOEIC(IPを含む)、TOEFL(PBT、iBT、ITP)またはIELTSの成績を用いて行う。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生はTOEICの成績(公式認定書またはスコアレポート)、TOEFLの成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report))または、IELTSの成績(成績証明書)の原本およびそのコピー1部を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後返却する。TOEIC、TOEFLまたはIELTSの成績は、英語100点満点に換算して評価する。

数理電子情報専攻(情報工学 PG)

期日	8月25日(木)	8月26日(金)
時間	13:00~15:00	13:00~
試験科目	専門基礎科目 (300点)	面接 (100点)
	線形代数、微積分、確率・統計、数理論理学に関する問題を解答する。	

◎解答は日本語又は英語で行う。

○面接の満点(100点)の30%(30点)に達しない者は、合計点の如何にかかわらず不合格とする。

※「英語」の評価はTOEIC(IPを含む)またはTOEFL(PBT、iBT、ITP)、またはIELTSの成績を用いて行う。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生はTOEICの成績(公式認定書またはスコアレポート)またはTOEFLの成績(受験者用控えスコア票(Examinee Score Report))またはIELTSの成績(成績証明書)の原本とそのコピー1部を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後、返却する。TOEIC、TOEFLまたはIELTSの成績は、英語100点満点に換算して評価する。

機械科学専攻(機械科学 PG)

期日	8月25日(木)			8月26日(金)
時間	13:00~14:30	15:00~15:30	15:00~16:00	13:00~
試験科目	必修科目群 (300点)	科目群A (100点)	科目群B (200点)	面接 (100点)
	微分・積分(偏微分、重積分を含む)、線形代数、常微分方程式	選択科目から1科目を選択	選択科目から2科目を選択	
	選択科目: 材料力学(引張りと圧縮、はりの曲げ応力、はりのたわみ、ねじり)、機械力学(質点系および剛体の動力学、1自由度系の振動)、熱力学(熱力学第0法則、熱力学第1法則、熱力学第2法則)、流体力学(静水力学、ベルヌーイの定理、連続の式、運動量保存則)、制御工学(ブロック線図、伝達関数、ステップ応答、周波数応答)			

◎解答は、日本語又は英語で行う。

○必修科目群および、科目群Aもしくは科目群Bのいずれか1つの科目群を選択する。科目群Aを選択した場合には、英語の評価を行う。

※「英語」の評価は提出されたTOEIC(IPを含む)またはTOEFL(PBT、iBT、ITP)の成績を用いて行う。

本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生はTOEICの成績（公式認定書またはスコアレポートの原本とそのコピー1部）またはTOEFLの成績（受験者用控えスコア票（Examinee Score Report）の原本およびそのコピー1部）を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後、返却する。TOEICまたはTOEFLの成績は、英語100点満点に換算して評価する。

環境社会基盤専攻（環境社会基盤国際PG）

期日	8月25日（木）	8月26日（金）
時間	13:00～15:00	13:00～
試験※科目	専門基礎科目（100点）	面接（200点）
	小論文（建設事業、維持・管理、防災・減災、地球科学、環境問題、SDGsなどの環境社会基盤に関する基礎的な内容を問う論述。一般的な科学英語による出題を含む。）	

◎英語又は日本語のいずれでの出題を希望するか志願票に申告すること。

◎解答は、日本語又は英語で行う。

※「英語」の評価は、TOEIC（IPを含む）、TOEFL（PBT、iBT、ITP）、またはIELTSの成績を英語100点満点に換算して評価する。なお、本学への成績提出日の3年前より成績提出日までに実施された試験の成績を有効とする。受験生はTOEICの成績（公式認定書またはスコアレポート）、TOEFLの成績（受験者用控えスコア票（Examinee Score Report））、またはIELTSの成績（成績証明書）のいずれかの原本とそのコピー1部を出願時または学力検査時に提出すること。原本は面接後、返却する。

(5) 試験場

本学構内（さいたま市桜区下大久保255）

京浜東北線 北浦和駅西口下車 埼玉大学行バス約15分

埼京線 南与野駅下車 埼玉大学行バス約10分

（※南与野駅埼玉大学行（経由）バス停は南与野駅北入口及び南与野駅西口があります。

南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。）

(6) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、8月5日（金）までに受験票が未着の場合は、理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

6. 合格者の発表（口述試験の結果、「筆記試験」・「面接試験」受験免除者となった者を含む。）

合格者の発表は、**令和4年9月5日（月）10時**に、本学理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書と入学手続関係書類を交付します。

なお、他大学出身者で当日受領しなかった者には郵送します。内部進学者は理工学研究科支援室理工研係で受領してください。

○ 入学確約書の提出

合格者は「入学確約書」（用紙は合格通知書と併せてお渡しします。）を

10月7日（金）までに、理工学研究科支援室理工研係に持参又は郵送してください。

7. 緊急時の連絡の方法について

自然災害などにより試験の予定通りの実施が危ぶまれるときは、試験実施日前日の午後4時までに試験実施の可否などについて、埼玉大学ホームページ、大学院理工学研究科ホームページに公表しますので確認してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/admission/exam/masters.html>



8. 入学手続

(1) 入学手続日

令和5年4月入学の場合：令和5年3月14日(火)及び3月15日(水)9時から17時まで。
ただし、外国人留学生は、令和5年3月25日(土)及び3月26日(日)
9時から17時まで。
令和4年秋期入学の場合：令和4年9月15日(木)及び9月16日(金)9時から17時まで。

(2) 提出書類 埼玉大学大学院理工学研究科(博士前期課程)受験票 その他本学の指定する書類等(合格者に通知します)

(3) 納付金 入学金・授業料

令和5年度入学者については、現在未定です。

(参考) 令和4年度入学者は、入学金は282,000円。授業料は(半期分)267,900円、
(年額)535,800円。

入学手続は本学が指定した提出書類等を本人又は代理人が直接大学に持参してください。なお、郵送による入学手続も可能です。詳細については合格者にお知らせします。

- ※1 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。
- ※2 前期授業料については、入学手続日に納付しないときは令和5年4月中(令和4年秋期入学にあつては令和4年10月中)に納付することになります。入学手続を行い入学辞退を認められた者が令和5年3月31日(金)17時まで(令和4年秋期入学にあつては令和4年9月30日(金)まで)に返還の申し出を行った場合、当該授業料相当額は返還します。
- ※3 入学時には上記入学金のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要となります。
- ※4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ※5 経済的理由等で入学金・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。
(免除又は徴収猶予を申請したあとに入学辞退を希望する場合は、入学金を納付する必要がありますのでご注意ください。)
- ※6 入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

9. 注意事項

- (1) 必要な書類等がすべてそろっていない場合には受付できないので、出願の際には十分確認してください。
- (2) 出願書類受付後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。ただし、TOEIC・TOEFL、IELTSの原本を提出した受験生については、原本は面接終了後に返却いたします。
また、次の場合は検定料の返還請求ができます。
 - ① 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合。
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合。
 - ③ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書等が提出された場合。

返還請求の方法は、所定の返還請求書(※)に必要な事項を記入し、振込金受付証明書又は収納証明書の原本を添付し、下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

(封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書してください。)

なお、上記③の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当

(返還は、請求書受理後2ヶ月程度かかります。)

(※) 返還請求書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/henkanseikyuu.pdf>

- (3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。
- (4) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 出願手続等に不明の点がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に

照会してください。

10. 奨学金について

日本学生支援機構奨学金の予約採用については合格者に通知する予定です。

11. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限（2年）で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間（最長4年）内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

12. 出願資格（6）の出願資格審査について

出願資格（6）で出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を令和4年6月1日（水）までに（2. 出願資格欄参照）本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書……………（指定様式1）
- ② 経歴書……………（指定様式2）
- ③ 入学希望理由書……………（指定様式3）
- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書（入学年月日及び在籍期間が記載されたもの）
- ⑥ その他本研究科で必要と認めたもの

出願資格（6）に該当する者

- ①短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等であること。
- ②大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする）研究に従事しており、令和5年3月31日までに22歳に達したものであること。

入学試験出願資格認定審査は、本研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を保留します。

13. 安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>



II. 【令和4年秋期入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項

令和4年秋期入学試験は、令和5年4月入学を前提として作成された「【令和5年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項」(ただし、1. 「募集人員」、2. 「出願資格」は以下のとおり。)に基づいて実施します。

令和4年秋期入学試験の「1. 募集人員」及び「2. 出願資格」は、次のとおりです。それ以外の入学者選抜の詳細については、I. 【令和5年4月入学】埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 学生募集要項の各頁を参照してください。

1. 募集人員

専攻名	PG名	学力検査	募集人員	備考
生命科学専攻	分子生物学 PG	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
	生体制御学 PG	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
物質科学専攻	物理学 PG	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
	基礎化学 PG	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
	応用化学 PG	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
数理電子情報専攻	数学 PG	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
	電気電子物理工学 PG	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
	情報工学 PG	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
機械科学専攻	機械科学 PG	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	
環境社会基盤専攻	環境社会基盤国際 PG	口述試験	若干名	
		筆記試験	若干名	

備考：募集人員に留学生を含む。

(注1) **希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。相談がない場合には、指導教員の定年退職等により受け入れない場合があります。**

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和4年9月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和4年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年9月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び令和4年9月30日までに22歳に達する者

※ 出願資格(6)については、11 ページ「出願資格(6)の出願資格審査について」を参照してください。

個別の出願資格審査を行うのであらかじめ申し出て、指定する書類を令和4年6月1日(水)までに提出してください。物理学 PG (筆答希望者のみ) は令和4年7月6日(水)までに提出してください。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

Ⅲ. 【令和5年4月入学】 【令和4年秋期入学】 埼玉大学大学院理工学研究科博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 学生募集要項

近代工業社会の展開に伴って物質的な豊かさと利便性を追求してきた人間の活動は、自然の許容力の範囲内で生きる伝統的社会の規範を越え、予想を上回る広範囲の環境破壊をもたらすという深刻な問題を引き起こしている。また、その一方では生活様式や社会様式の変化により、人間生活環境にも改善すべき多くの課題が出現している。このような社会情勢のもと、実社会の多様な部門において高度な研究能力に併せ、研究の急速な進展にも対処することができる十分な基礎学力と広域的視野を具えた指導的な役割を果たし得る人材が求められるようになった。本研究科博士前期課程はこのような社会的要請に応え、SDGs に密接に関連する世界規模の課題に対して理工のみならず文理融合教育による講義と専門分野の研究活動を通して高い専門性と幅広い知識を備えたグローバル人材を育成するものである。以上の趣旨に基づき、以下の入試選抜による学生募集を実施します。

1. 募集人員

専攻名	PG 名	募集人員
専攻共通	地球環境における科学技術の応用と融合 PG	10 名

注) 指導教員の定年退職等により受け入れない場合があるので、希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。

2-1. 出願資格〈令和5年4月入学の場合〉

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和5年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び令和5年3月31日までに22歳に達する者

※ 出願資格(6)については、以下の【注】を参照してください。

2-2. 出願資格〈令和4年秋期入学の場合〉

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和4年9月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和4年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年9月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び令和4年9月30日までに22歳に達する者

※ 出願資格(6)については、以下の【注】を参照してください。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

【注】 出願資格(6)で出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を令和4年6月1日(水)までに本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書……………(指定様式1)
- ② 経歴書……………(指定様式2)
- ③ 入学希望理由書……………(指定様式3)

- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書（入学年月日及び在籍期間が記載されたもの）
- ⑥ その他本学研究科で必要と認めたもの

※ 出願資格(6)に該当する者とは、①短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等であること。②大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする）研究に従事しており、22歳に達したものであること。

※ 出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係（TEL 048-858-3430）に照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和4年6月6日（月）から6月10日（金）まで。

受付時間は、9時から16時まで。

(2) 提出書類等

提出書類等	注意事項
入学志願票・ 受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要な事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のものを指定欄に貼付してください。
卒業（見込）証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した卒業（見込）証明書 ・出願時に本学の理学部・工学部に在籍している者は提出の必要はありません。 ・本学他学部等に在籍している者、過去に本学を卒業した者は提出してください。（厳封は不要です。）
成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した成績証明書 ・本学の在籍者及び過去に本学を卒業した者も提出してください。（厳封は不要です。） ・大学に編入している場合は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。 ・高等専門学校の本科から専攻科に進学した場合は、本科の成績証明書も提出してください。
検定料	30,000円 払込方法（次のいずれかの方法で払込してください。） ① 本研究科所定の「振込依頼書」により、最寄りの金融機関から振込んでください。 ② コンビニエンスストアで払い込んでください。 別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※ 出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期（出願期間前でも可能）に検定料を振込んでください。ただし、国費外国人留学生は、在籍大学で発行される「国費外国人留学生証明書」を提出してください。これにより検定料が免除されます。 (注) 検定料の免除について 学資負担者が令和5年4月1日から出願時まで、災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。（この場合は、検定料を払わないでください。） また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
振込金受付証明書 等貼付用紙	本研究科所定の用紙に検定料を振り込んだ金融機関等が証明した「振込金受付証明書」又は「収納証明書」を貼付したもの。
受験許可書	現在大学院在学中の者又は官公署及び会社等に在職中の者は、その所属長の受験許可書（本研究科所定の用紙による）を提出してください。ただし、本人が退職して入学する場合は、その旨を明記した文書を以て受験許可書に代えることができます。この場合は、入学時に退職証明書を提出してください。

志望調査書	本研究科所定の用紙に記入してください。
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に住所、宛名及び郵便番号を明記し、94円切手を貼付したもの。
外国人留学生は、履歴書(本研究科所定の用紙)及び住民票(在留資格及び在留期間の明記されたもの)を提出してください。 なお、住民票を提出できない者は、その理由書及びパスポートの写しを提出してください。その場合、受験当日にパスポートを持参し係員に提示してください。	
国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」(在籍大学で発行)を添付してください。	

- (注) ①提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。
②学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を提出してください。

(3) 出願方法

入学志願者は、上記の提出書類等を一括し、所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。
なお、提出書類を郵送する場合は、書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(4) 書類提出先

338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について (27 ページ参照)

5. 選抜方法等

(1) 入学者の選抜は、学力検査(口述試験)、出身大学の卒業(見込)証明書及び成績証明書を総合して行います。

(2) 口述試験の配点は100点とします。

(3) 学力検査

区分	日時	試験内容
口述試験	令和4年8月26日(金) 時間等詳細については後日連絡	1) 卒業研究(卒業研究を行っていない場合は現在興味を持っている研究)の内容および博士前期課程で取り組みたい研究テーマについて4ページのPDFにまとめ、Acrobat Readerを用いて5分以内の発表を行う。その内容について口頭試問を行う。 2) 志望動機、将来の展望、研究に対する意欲や関心について質疑応答を行う。

(4) 試験場

本学構内(さいたま市桜区下大久保 255)

京浜東北線	北浦和駅西口下車	埼玉大学行バス約15分
埼京線	南与野駅下車	埼玉大学行バス約10分

(※南与野駅埼玉大学行(経由)バス停は南与野駅北入口及び南与野駅西口があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。)

(5) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、8月5日(金)までに受験票が未着の場合は、理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

6. 合格者の発表

合格者の発表は、令和4年9月5日(月)10時に本学理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書と入学手続

関係書類を交付します。

なお、当日受領しなかった者には、郵送します。

○入学確約書の提出

合格者は、「入学確約書」（用紙は合格通知書と併せてお渡しします）を10月7日（金）までに理工学研究科支援室理工研係に持参又は郵送してください。

7. 入学手続

令和5年4月入学の場合：令和5年3月14日（火）及び3月15日（水）9時から17時まで。

ただし、外国人留学生は、令和5年3月25日（土）及び3月26日（日）9時から17時まで。

令和4年秋期入学の場合：令和4年9月15日（木）及び9月16日（金）9時から17時まで。

(2) 提出書類 埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）受験票その他本学の指定する書類等（合格者に通知します）

(3) 納付金 入学料・授業料

令和5年度入学者については、現在未定です。

（参考）令和4年度入学者は、入学料は282,000円。授業料は（半期分）267,900円、（年額）535,800円。

入学手続は本学が指定した提出書類等を本人又は代理人が直接大学に持参してください。なお、郵送による入学手続についても可能です。詳細については合格者にお知らせします。

※1 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。

※2 前期授業料については、入学手続日に納付しないときは令和5年4月中（令和4年秋期入学にあつては令和4年10月中）に納付することになります。

入学手続を行い入学辞退を認められた者が令和5年3月31日（金）（令和4年秋期入学にあつては令和4年9月30日（金））17時まで返還の申し出を行った場合、当該授業料相当額は返還します。

※3 入学時には上記入学料のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要となります。

※4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※5 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。

（免除又は徴収猶予を申請したあとに入学辞退を希望する場合は、入学料を納付する必要がありますのでご注意ください。）

※6 入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

8. 注意事項

(1) 必要な書類等がすべてそろっていない場合には受付できないので、出願の際には十分確認してください。

(2) 出願書類受付後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。

また、次の場合は検定料の返還請求ができます。

① 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合。

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合。

③ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書等が提出された場合。

返還請求の方法は、所定の返還請求書（※）に必要事項を記入し、振込金受付証明書又は収納証明書の原本を添付し、下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

（封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書してください。）

なお、上記③の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当

（返還は、請求書受理後2ヶ月程度かかります。）

（※）返還請求書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/henkanseikyu.pdf>

(3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。

(4) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

(5) 出願手続等に不明の点がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

9. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限（2年）で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間（最長4年）内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

10. 安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>



IV. 【令和5年4月入学】 【令和4年秋期入学】 埼玉大学大学院理工学研究科博士前期課程 地球環境における科学技術の応用と融合 PG 社会人入試学生募集要項

近代工業社会の展開に伴って物質的な豊かさと利便性を追求してきた人間の活動は、自然の許容力の範囲内で生きる伝統的社会の規範を越え、予想を上回る広範囲の環境破壊をもたらすという深刻な問題を引き起こしている。また、その一方では生活様式や社会様式の変化により、人間生活環境にも改善すべき多くの課題が出現している。このような社会情勢のもと、実社会の多様な部門において高度な研究能力に併せ、研究の急速な進展にも対処することができる十分な基礎学力と広域的視野を具えた指導的な役割を果たし得る人材が求められるようになった。本研究科博士前期課程はこのような社会的要請に応え、各種の研究機関、企業等において活躍中の現職の社会人を大学院に受け入れる道を開くと共に、教育・研究面における大学と社会との交流を一層深めようとするものである。

以上の趣旨に基づき、専門的な研究能力を有する社会人に対し、以下の入試選抜による学生募集を実施します。

1. 募集人員

専攻名	PG名	募集人員
専攻共通	地球環境における科学技術の応用と融合 PG	若干名

注) 指導教員の定年退職等により受け入れない場合があるので、希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。

2-1. 出願資格〈令和5年4月入学の場合〉

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和5年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び令和5年3月31日までに22歳に達する者

※ 出願資格(6)については、19ページの【注】を参照してください。

2-2. 出願資格〈令和4年秋期入学の場合〉

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和4年9月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和4年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年9月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び令和4年9月30日までに22歳に達する者

※ 出願資格(6)については、19ページの【注】を参照してください。

【注】出願資格(6)で出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を令和4年6月1日(水)までに本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書……………(指定様式1)
- ② 経歴書……………(指定様式2)
- ③ 入学希望理由書……………(指定様式3)
- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書(入学年月日及び在籍期間が記載されたもの)
- ⑥ その他本学研究科で必要と認めたもの

※ 出願資格(6)に該当する者とは、①短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等であること。②大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする)研究に従事しており、22歳に達したものであること。

※ 「社会人入試」とは、企業等に勤務している者を、所属長からの受験許可に基づいて選抜する制度のことであり、受験許可を行う企業等は、在職のままの修学について応諾することを前提としている。入学試験出願資格認定審査は、本研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を保留します。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和4年6月6日(月)から6月10日(金)まで。

受付時間は、9時から16時まで。

(2) 提出書類等

提出書類等	注意事項
入学志願票・ 受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のものを指定欄に貼付してください。
卒業証明書・ 成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した卒業証明書及び成績証明書を提出してください。
検定料	30,000円 払込方法(次のいずれかの方法で払込してください。) ① 本研究科所定の「振込依頼書」により、最寄りの金融機関から振込んでください。 ② コンビニエンスストアで払い込んでください。 別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※ 出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期(出願期間前でも可能)に検定料を振込んでください。 (注) 検定料の免除について 学資負担者が令和4年4月1日から出願時まで、災害救助法が適用された地域(災害救助法適用地域)で被災した場合、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。(この場合は、検定料を払わないでください。) また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
振込金受付証明書等貼付用紙	本研究科所定の用紙に検定料を振り込んだ金融機関等が証明した「振込金受付証明書」又は「収納証明書」を貼付したもの。
受験許可書	本研究科所定の用紙に所属長が記入したもの。
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に住所、宛名及び郵便番号を明記し、94円切手を貼付したもの。

(注) 提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。

(3) 出願方法

入学志願者は、上記の提出書類等を一括し、所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。
なお、提出書類を郵送する場合は、書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(4) 書類提出先

338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について (27 ページ参照)

5. 選抜方法等

(1) 入学者の選抜は、学力検査(口述試験)、出身大学の卒業証明書、成績証明書及び受験許可書を総合して行います。

(2) 口述試験の配点は100点とします。

(3) 学力検査

区分	日時	試験内容
口述試験	令和4年8月26日(金) 時間等詳細については後日連絡	1) 卒業研究(卒業研究を行っていない場合は現在興味を持っている研究)の内容および博士前期課程で取り組みたい研究テーマについて4ページのPDFにまとめ、Acrobat Readerを用いて5分以内の発表を行う。その内容について口頭試問を行う。 2) 志望動機、将来の展望、研究に対する意欲や関心について質疑応答を行う。

(4) 試験場

本学構内(さいたま市桜区下大久保 255)

京浜東北線	北浦和駅西口下車	埼玉大学行バス約15分
埼京線	南与野駅下車	埼玉大学行バス約10分

(※南与野駅埼玉大学行(経由)バス停は南与野駅北入口及び南与野駅西口があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。)

(5) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、8月5日(金)までに受験票が未着の場合は、理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

6. 合格者の発表

合格者の発表は、令和4年9月5日(月)10時に本学理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書と入学手続関係書類を交付します。

なお、当日受領しなかった者には、郵送します。

○入学確約書の提出

合格者は、「入学確約書」(用紙は合格通知書と併せてお渡しします)を10月7日(金)までに理工学研究科支援室理工研係に持参又は郵送してください。

7. 入学手続

令和5年4月入学の場合: 令和5年3月14日(火)及び3月15日(水)9時から17時まで。

ただし、外国人留学生は、令和5年3月25日(土)及び3月26日(日)9時から17時まで。

令和4年秋期入学の場合: 令和4年9月15日(木)及び9月16日(金)9時から17時まで。

(2) 提出書類 埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）受験票その他本学の指定する書類等（合格者に通知します）

(3) 納付金 入学料・授業料
令和5年度入学者については、現在未定です。

（参考）令和4年度入学者は、入学料は282,000円。授業料は（半期分）267,900円、（年額）535,800円。

入学手続は本学が指定した提出書類等を本人又は代理人が直接大学に持参してください。なお、郵送による入学手続についても可能です。詳細については合格者にお知らせします。

※1 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。

※2 前期授業料については、入学手続日に納付しないときは令和5年4月中（令和4年秋期入学にあつては令和4年10月中）に納付することになります。

入学手続を行い入学辞退を認められた者が令和5年3月31日（金）（令和4年秋期入学にあつては令和4年9月30日（金））17時までに返還の申し出を行った場合、当該授業料相当額は返還します。

※3 入学時には上記入学料のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要となります。

※4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※5 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。

（免除又は徴収猶予を申請したあとに入学辞退を希望する場合は、入学料を納付する必要がありますのでご注意ください。）

※6 入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

8. 注意事項

(1) 必要な書類等がすべてそろっていない場合には受付できないので、出願の際には十分確認してください。

(2) 出願書類受付後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。

また、次の場合は検定料の返還請求ができます。

① 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合。

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合。

③ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書等が提出された場合。

返還請求の方法は、所定の返還請求書（※）に必要事項を記入し、振込金受付証明書又は収納証明書の原本を添付し、下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

（封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書してください。）

なお、上記③の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当

（返還は、請求書受理後2ヶ月程度かかります。）

（※）返還請求書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/henkanseikyu.pdf>

(3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。

(4) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

(5) 出願手続等に不明の点がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

9. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限（2年）で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間（最長4年）内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる

「長期履修学生制度」を適用することができます。

10. 安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>



V. 【令和5年4月入学】 埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程
理工学教員入試学生募集要項

中学校、高等学校、高等専門学校などの理工系教員には、通常の教科科目の授業のほかに多くのことが要請される。最新の科学・技術情報を取り入れた教材・授業案・実験実習プログラムの作成、科学クラブなどでの課外活動の適切な指導、最新の情報に基づいた適切な進路指導、などである。また、大学を卒業して教職に就いた教員が上級の職に就くためには、大学院修士課程程度の授業を履修し専修免許を取得しなければならない。このような、リカレント教育および知識と技術の向上の教育を受け、修士の学位を取得し、専修免許を得たいとの要望は多い。本入試選抜は、このような教員の受け入れのために実施するものであります。

1. 募集人員

専攻名	PG名	募集人員	申請可能な専修免許状
物質科学専攻	物理学 PG	1名	中学・高校 理科
	基礎化学 PG	1名	中学・高校 理科
	応用化学 PG		中学・高校 理科
数理電子情報専攻	数学 PG	1名	中学・高校 数学

令和5年度入学者の申請可能専修免許状は、申請可能な専修免許状欄記載の免許教科・種別のとおりです。

注) 指導教員の定年退職等により受け入れない場合があるので、希望する指導教員と出願前に十分に相談し出願してください。

2. 出願資格

現在就業している中学校、高等学校、高等専門学校の理工系教員（「国公私立の教諭で、所属長から認められた者」又は「現職のまま時間外や休暇・休日に履修して学位を取ることを希望する者」）で次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者（【注】参照）

【注】出願資格(6)で出願しようとする者については、個別の出願資格審査を行うので、あらかじめ本研究科へ申し出て、次の書類を令和4年6月1日(水)までに本研究科に提出してください。

- ① 入学試験出願資格個別審査申請書……………(指定様式1)
- ② 経歴書……………(指定様式2)
- ③ 入学希望理由書……………(指定様式3)
- ④ 成績証明書
- ⑤ 卒業証明書又は在籍証明書(入学年月日及び在籍期間が記載されたもの)
- ⑥ その他本研究科で必要と認められたもの

※ 出願資格(6)に該当する者とは、①短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者等であること。②大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする)研究に従事しており、22歳に達したものであること。

入学試験出願資格認定審査は、本研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を保留します。

出願資格について疑問がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和4年6月6日(月)から6月10日(金)まで。

受付時間は、9時から16時まで。

(2) 提出書類等

提出書類等	注意事項
入学志願票・ 受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要事項を漏れなく記入してください。写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽上半身のを指定欄に貼付してください。
卒業証明書 ・成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封した卒業証明書及び成績証明書を提出してください。
検定料	30,000円 ① 本研究科所定の「振込依頼書」により、最寄りの金融機関から振込んでください。 ② コンビニエンスストアで払い込んでください。 別紙案内書「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照ください。 ※ 出願期間を過ぎると受付できないので、早い時期(出願期間前でも可能)に検定料を振込んでください。 (注)検定料の免除について 学資負担者が令和4年4月1日から出願時までに、災害救助法が適用された地域(災害救助法適用地域)で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。 検定料の免除を希望する志願者は、本学ホームページ上から検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書等を添付して出願書類と同時に提出してください。(この場合は、検定料を払わないでください。) また、出願時に罹災証明書等を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書等を提出した場合に検定料を還付します。
振込金受付証明書等貼付用紙	本研究科所定の用紙に検定料を振り込んだ金融機関等が証明した「振込金受付証明書」又は「収納証明書」を貼付したもの。
受験許可書	在職している学校の所属長の受験許可書(本研究科所定の用紙による)を提出してください。
志望調査書	数学PG及び物理学PG志願者のみ提出してください。本研究科所定の用紙に記入してください。物理学PG志願者は一般入試用の巻末の所定様式を記入してください。
受験票等送付用封筒	定形(12cm×23.5cm)の封筒に住所、宛名及び郵便番号を明記し、94円切手を貼付したもの。

(注) 提出書類のうち外国語によるものは、日本語または英語の訳をつけてください。

(3) 出願方法

入学志願者は、上記の提出書類等を一括し、所定の期間内に持参又は郵送により提出してください。

なお、提出書類を郵送する場合は、書留郵便として封筒の表に「大学院理工学研究科博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きの上、締切日までに必着するよう送付してください。

(4) 書類提出先

338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

4. 障がい等のある入学志願者の事前相談について (27 ページ参照)

5. 選抜方法等

(1) 入学者の選抜は、学力検査(口述試験)及び出願書類の審査を総合して行います。

(2) 口述試験の配点は、100点とします。

(3) 学力検査

区分	日時	試験内容
口述試験	令和4年8月26日(金) 時間等詳細については後日連絡	専門科目全般について

※ 口述試験はPGごとに行う。

※ 口述試験の資料となる小論文等を書かせることがあります。

(4) 試験場

本学構内（さいたま市桜区下大久保 255）

京浜東北線	北浦和駅西口下車	埼玉大学行バス約15分
埼京線	南与野駅下車	埼玉大学行バス約10分

（※南与野駅埼玉大学行（経由）バス停は南与野駅北入口及び南与野駅西口があります。南与野駅西口からの便は少ないので注意してください。）

- (5) 試験室の案内及び諸注意事項は、受験票と同時に送付します。なお、8月5日（金）までに受験票が未着の場合は、理工学研究科支援室理工研係に照会してください。

6. 合格者の発表

合格者の発表は、令和4年9月5日（月）10時に本学理工学研究科の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には理工学研究科支援室理工研係で受験票と照合の上、合格通知書と入学手続関係書類を交付します。なお、当日受領しなかった者には、郵送します。

○入学確約書の提出

合格者は、「入学確約書」（用紙は合格通知書と併せてお渡しします。）を10月7日（金）までに、理工学研究科支援室理工研係に持参又は郵送してください。

7. 入学手続

- (1) 入学手続日 令和5年3月14日（火）及び3月15日（水）9時から17時まで。

- (2) 提出書類 埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）受験票
その他本学の指定する書類等（合格者に通知します）

- (3) 納付金 入学料・授業料
令和5年度入学者については、現在未定です。

（参考）令和4年度入学者は、入学料は282,000円。授業料は（半期分）267,900円、
（年額）535,800円。

入学手続は本学が指定した提出書類等を本人又は代理人が直接大学に持参してください。

なお、郵送による入学手続も可能です。詳細については合格者に知らせます。

- ※1 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も併せて納付することができます。
※2 前期授業料については、入学手続日に納付しないときは令和5年4月中（令和4年秋期入学にあつては令和4年10月中）に納付することになります。

入学手続を行い入学辞退を認められた者が令和5年3月31日（金）（令和4年秋期入学にあつては令和4年9月30日（金））17時まで返還の申し出を行った場合、当該授業料相当額は返還します。

- ※3 入学時には上記入学料のほか、学生教育研究災害傷害保険など若干の諸経費が必要となります。
※4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
※5 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考の上、免除又は徴収猶予する制度があります。詳細については合格者に知らせます。

（免除又は徴収猶予を申請したあとに入学辞退を希望する場合は、入学料を納付する必要がありますのでご注意ください。）

- ※6 入学手続期間内に入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

8. 注意事項

- (1) 必要な書類等がすべてそろっていない場合には受付できないので、出願の際には十分確認してください。

- (2) 出願書類受付後は、提出書類の返却及び検定料の返還はしません。
また、次の場合は検定料の返還請求ができます。

- ① 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合。
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合。
- ③ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書等が提出された場合。

返還請求の方法は、所定の返還請求書（※）に必要事項を記入し、振込金受付証明書又は収納証明書

の原本を添付し、下記送付先へ簡易書留にて速やかに送付してください。

(封筒には「検定料返還請求書在中」と朱書してください。)

なお、上記③の場合は、地方公共団体の発行する罹災証明書も添付してください。

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学財務部経理課出納担当
(返還は、請求書受理後2ヶ月程度かかります。)

(※) 返還請求書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/henkanseikyuu.pdf>

- (3) 出願書類受付後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号に変更があった場合には、理工学研究科支援室理工研係まで連絡してください。
- (4) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 出願手続等に不明の点がある場合は、理工学研究科支援室理工研係(TEL 048-858-3430)に照会してください。

9. 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの理由により、標準の修業年限(2年)で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間(最長4年)内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

10. 安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>



VI. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当までご相談ください。

連絡先：〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255

埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

TEL 048-858-3430（平日 9 時～17 時）相談書提出期限：令和 4 年 6 月 1 日（水）

(1) 申請方法

申請する場合は所定の書式（※）に診断書（発行後 6 カ月以内の原本）及び身体障害者手帳を所有の者はその写しを添えて提出することとし、必要な場合は、本研究科において当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁しうる者との面談をすることがあります。

（※）申請書は、本学ホームページからダウンロードして入手してください。

http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/hairyo-shinsei.pdf

(2) この申請で、受験許可を得た場合は、出願書類を提出の際、その旨を上記連絡先に連絡してください。

(3) この申請で受験許可を得て、出願を辞退若しくは出願したが受験しない場合は、速やかに上記の連絡先に電話連絡をするとともに、ハガキ又は手紙で通知してください。

VII. 入試情報の開示について

埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程では、入試情報について、次のとおり開示・提供します。

○ 請求に基づき開示する情報

入試成績の合計点

○ 開示請求方法

・対象者 本入試を受験し、**不合格となった者**に限ります。

・請求方法 郵送の場合は、「埼玉大学大学院理工学研究科 博士前期課程 入試情報開示請求書」（募集要項に添付）、返信用封筒（本人の住所、氏名を明記し、簡易書留郵便 404 円の切手を貼った長形 3 号封筒）及び受験票を同封してください。

窓口の場合は、「埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）入試情報開示請求書」（募集要項に添付）を提出してください。その際、受験票を提示してください。

・請求期間 令和 4 年 10 月 3 日（月）～10 月 4 日（火）

・請求先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255

埼玉大学大学院理工学研究科支援室理工研係

（注）郵送の場合は「大学院入試情報開示請求」と朱書きしてください。

・開示方法 請求期間終了後に郵送又は窓口で交付します。なお、交付日は請求時に連絡します。窓口で交付を受ける際は、受験票を提示してください。

埼玉大学大学院理工学研究科

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255

TEL 048(858)3430

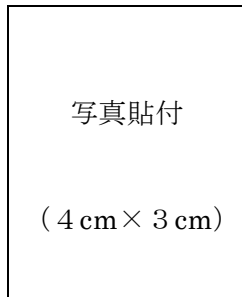
【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】
埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）入学志願票

1. 令和5年4月入学 2. 令和4年秋期入学（出願する方に○を付ける）					受験番号
ふりがな					性別
氏名					男・女
Name (English)					国籍
		Family name	First name	Middle name	
生年月日		年 月 日生			
		<small>(外国籍の方は記入してください。)</small>			
志望専攻・PG名		希望指導教員名 <small>(電気電子物理工学 PG は第5希望まで、分子生物学 PG、応用化学 PG は第3希望まで、その他のコースは第2希望まで記入してください。数学 PG、物理学 PG、情報工学 PG、機械科学 PG は記入不要です。)</small>			
専攻		1			
		2			
PG		3	4	5	
<input type="checkbox"/> 出願について希望する指導教員と協議をしました。		<small>(協議が済んでいる場合には□に✓を入れてください。)</small>			
現住所		〒 —	(電話番号) — —	(email)	
			(携帯番号) — —		
合格通知受信場所		〒 —	(電話番号) — —	(携帯番号) — —	
出願資格	出身 大学名	_____大学_____学部_____学科 年 月 卒業・卒業見込 <small>(どちらかに○を付けてください。)</small> <small>(本学出身者は学籍番号を記入してください。 _____)</small>			
	その他				
出願者の希望する学力検査 <small>(口述試験希望者は入学後の指導予定教員と事前協議要)</small>			口述試験 ・ 筆記試験		
物理学 PG 及び基礎化学 PG 及び環境社会基盤国際 PG 志望留学生の出題希望 <small>(○印が無い場合は日本語での出題となります。)</small>			英 語 ・ 日本語 <small>(どちらかに○を付けてください。)</small>		
TOEIC・TOEFL、IELTS スコア票提出時期 <small>(分子生物学 PG、生体制御学 PG、物理学 PG、基礎化学 PG、応用化学 PG、電気電子物理工学 PG、情報工学 PG、機械科学 PG、環境社会基盤国際 PG 出願者)</small>			出願時提出 ・ 学力検査時提出 <small>(どちらかに○を付けてください。)</small> ※ 一度提出したスコア票の差し替えはできません。		
機械科学 PG 専攻志願者の出願希望 <small>(口述試験、筆記試験の選択によらず○をつけてください。)</small>			科目群 A ・ 科目群 B <small>(どちらかに○を付けてください。)</small>		
履 歴 書	学 歴	年 月	高等学校卒業		
	(高校卒業から 記入してください。)	年 月	入学		
		年 月	卒業 (見込)		
		年 月			
職 歴	年 月				
	年 月				
	取得 (予定) 教員免許状	年 月			

【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】
埼玉大学大学院
理工学研究科（博士前期課程）

受 験 票

受験番号	※
ふりがな	
氏 名	
志望 PG 名	
出願者の希望する学力検査	口述試験・筆記試験
物理学 PG・基礎化学 PG 環境社会基盤国際 PG 志望 留学生の出題希望 (○印が無い場合は日本語での出題となります。)	英語・日本語
機械科学 PG 志願者の 出願希望	科目群 A・科目群 B



◎ 注意

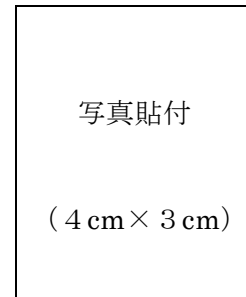
1. 受験の際は必ず持参してください。
2. 入学時まで保存してください。

○

【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】
埼玉大学大学院
理工学研究科（博士前期課程）

写 真 票

受験番号	※
ふりがな	
氏 名	
志望 PG 名	
出願者の希望する学力検査	口述試験・筆記試験
物理学 PG・基礎化学 PG 環境社会基盤国際 PG 志望 留学生の出題希望 (○印が無い場合は日本語での出題となります。)	英語・日本語
機械科学 PG 志願者の 出願希望	科目群 A・科目群 B



切り取らないでください。 志願票等の記入上の注意

1. 本票は点線以外で折らないでください。
2. 黒または青インキを用いペン（ボールペン可）ではっきりと記入してください。
3. 字体は楷書又はローマ字活字体、数字は算用数字を用いてください。
4. 希望指導教員名について電気電子理工学 PG は第5希望まで、分子生物学 PG、応用化学 PG は第3希望まで、その他の PG は第2希望までを希望指導教員名の欄に記入してください。
数学 PG、物理学 PG、情報工学 PG、機械科学 PG は記入不要です。
5. 志願者は、必ず希望する学力検査（「口述試験」又は「筆記試験」）を選択し、どちらか一方を○で囲んでください。
6. 物理学 PG、基礎化学 PG、環境社会基盤国際 PG 志願の留学生は、英語・日本語の何れかでの出題を希望するか、どちらか一方を○で囲んでください。○印が無い場合は日本語での出題となります。
7. 分子生物学 PG、生体制御学 PG、物理学 PG、基礎化学 PG、応用化学 PG、電気電子理工学 PG、情報工学 PG、機械科学 PG、環境社会基盤国際 PG 出願者は、TOEIC または TOEFL、IELTS スコア票提出時期の一方を○で囲んでください。なお、一度提出したスコア票を差し替えることはできません。
8. 機械科学 PG 志願者は口述試験、筆記試験の選択によらず、科目群 A・科目群 B のどちらか一方を○で囲んでください。筆記試験受験者および口述試験を希望し出願したが筆記試験を受験することになった者に適用されます。○印が無い場合は科目群 A となります。
9. 合格通知受信場所は、連絡、照会及び合格通知を受け取る場所を記入し、郵便番号は必ず記入してください。また、合格通知受信場所に変更が生じた場合は速やかに連絡してください。
10. 学歴欄は、卒業見込みの場合も必ず記入してください。
11. 教員免許状取得見込みの場合も必ず記入してください。
12. 写真は、受験票・写真票とも同じものを貼付してください。
13. 入学願書提出後は、記載事項の変更を認めません。（合格通知受信場所を除く。）
14. 事実と相違していることを記載したときは、入学後でも入学をキャンセルすることがあります。

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

1 お申込みの前に

お支払い手続きの途中で「8桁の番号」の入力を求められます。
ご自身の生年月日(西暦)を8桁の番号にして入力してください。
例 2001年4月1日生まれの志願者→8桁の番号:20010401

番号メモ
(8桁)

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

 **セブン-イレブン**

マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



LAWSON
Loppi

MINISTOP
Loppi

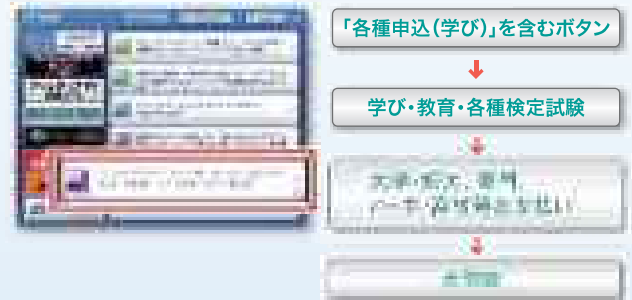
<http://www.lawson.co.jp>

<http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



お申込みの大学院

をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

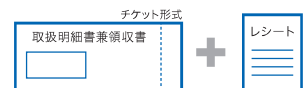
① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



② お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。

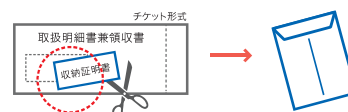


*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	495円
---------------	-------------	------

3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の
「収納証明書」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って提出してください。





貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は
使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

*申込み時に入力した**8桁の番号**が
収納証明書に印字されていることを
確認してください。

【入試・出願に関するお問い合わせ先】 募集要項に記載の連絡先へお問い合わせください。
【検定料の払込に関するお問い合わせ先】 埼玉大学 経理課出納担当 TEL048-858-3942 (受付時間) 平日9:00~17:00
【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/e/guide/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

振込金受付証明書等貼付用紙

 金融機関 振込金受付証明書貼付欄
<ul style="list-style-type: none">金融機関から振り込んだ場合は、振込金受付証明書を、太線の中にはがれないようにしっかりと貼り付けること。振込金受付証明書に金融機関の受付印が押印されていない場合には、受理できないので注意すること。
コンビニ 収納証明書貼付欄 
<p>コンビニで支払った場合は、コンビニで受け取った取扱明細書から「<u>収納証明書</u>」部分を切り取り、点線の中にはがれないようにしっかりと貼り付けること。</p>
<p>※「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります。」と記載のある糊は使用しないこと。</p>

大学使用欄

経理確認欄	受験番号

埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

令和 年 月 日

【令和5年4月入学】 【令和4年秋期入学】

埼玉大学大学院理工学研究科[博士前期課程] 志望理由書
(分子生物学 PG・生体制御学 PG・物理学 PG・基礎化学 PG 口述試験志願者)

氏名 _____

分子生物学 PG

生体制御学 PG

下記の理由により、埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程] 物理学PG

基礎化学PG

に入学し、 _____ (指導教員) に指導を受けることを希望します。

理由：

注意：ワープロによる印刷又は手書きによる記入の場合でも、枠内に収まるようにすること。

指導教員予定者署名・捺印

印

受験番号

※

令和 年 月 日

【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】
埼玉大学大学院理工学研究科【博士前期課程】志望調査書
(物理学 PG 志願者：口述試験希望者をのぞく)

氏名 _____

入学後の希望研究分野（素粒子理論、宇宙・原子核理論、物性理論、宇宙物理、原子核実験、物性実験）を第3希望まで選び、各希望研究分野に対して指導を希望する教員名（複数名でもよい）を記入してください。

研究分野 教員名（希望順に書くこと）

第1希望：

第2希望：

第3希望：

なお、各研究分野の教員名は以下の通りです。

素粒子理論	谷井義彰教授、仁尾真紀子連携准教授
宇宙・原子核理論	望月優子連携教授、江幡修一郎助教
物性理論	品岡寛助教、星野晋太郎助教
宇宙物理	田代信教授、寺田幸功准教授、望月優子連携教授、 大朝由美子准教授（教育学部・併任教員）、佐藤浩介准教授 勝田哲助教
原子核実験	鈴木健教授、山口貴之准教授、上坂友洋連携教授
物性実験	小坂昌史教授、谷口弘三准教授、 道村真司助教、小林拓矢助教

各教員の詳しい研究内容は、物理学コースのホームページ <http://phy.saitama-u.ac.jp/> の研究室案内を参照してください。

受験番号	※
------	---

令和 年 月 日

【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】

埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程] 志望調査書
(数学 PG 志願者)

氏 名 _____

1. 卒業研究やその他で、これまでに学習してきた数学の内容や興味を持った定理などを説明してください。(数学書や論文などを引用する場合は著者等を明示してください。)

2. 入学後の希望研究分野（代数、幾何、解析など）及び希望指導教員名（より詳細な研究希望があれば、その内容も記入してください。指導教員については複数名や「希望なし」でも結構です）

受験番号	※
------	---

【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】

埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程] 志望調査書
(情報工学PG志願者)

氏名 _____

- 入学後の希望指導教員名を第5希望まで記入してください。
 - 希望指導教員（第1希望）との相談の有無について、該当箇所にチェックしてください。
- ※ 第5希望まで記入のない場合は配属において不利になることがあります。
- ※ 教員の退職・転出や実験機器の数、研究室の収容人員の制限等により、第1希望の研究室に配属できないことがあります。ご了承ください。

希望指導教員名

第1希望：

第2希望：

第3希望：

第4希望：

第5希望：

出願に先立ち、希望指導教員（第1希望）と十分に相談しました。

- ※ 相談した上で にチェック (✓) を入れてください。
なお、募集要項に記載の通り、希望する指導教員と出願前に十分に相談してから出願してください。

※ 記載可能な指導教員名は以下の通りです。

- | | |
|------------|-------------|
| • 重原 孝臣 教授 | • 吉川 宣一 准教授 |
| • 島村 徹也 教授 | • 山田 敏規 准教授 |
| • 内田 淳史 教授 | • 後藤 祐一 准教授 |
| • 吉浦 紀晃 教授 | • 安積 卓也 准教授 |
| • 小室 孝 教授 | • 松永 康佑 准教授 |
| • 小林 貴訓 教授 | • 堤田 成政 准教授 |
| • 栗木 一郎 教授 | • 松田 哲直 准教授 |
| • 大久保 潤 教授 | • 島田 裕 准教授 |

各教員の詳しい研究内容は、情報工学PG（工学部 情報工学科）の教職員紹介ページを参照してください。
<http://www.ics.saitama-u.ac.jp/staff/>

受験番号

※

【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】

埼玉大学大学院理工学研究科[博士前期課程機械科学専攻]志望調査書

氏名 _____

入学後の希望研究室及び希望指導教員名を記入して下さい。ただし同じ研究室を複数記入することはできません。第1～3希望まで記入のない場合は配属において不利になることがあります。

希望順位	希望研究室	指導教員名
第1希望		
第2希望		
第3希望		
第4希望		
第5希望		
第6希望		
第7希望		
第8希望		
第9希望		
第10希望		
第11希望		
第12希望		
第13希望		

出願に先立ち、希望指導教員（第一希望）と十分相談を行いました。

*相談した上でにチェックを入れてください。

なお、募集要項に記載の通り希望指導教員と十分に相談してから出願してください。

各研究室の主研究指導教員名は以下の通りです。

機械工作	金子順一 教授、阿部壮志 准教授
材料力学	荒居善雄 教授、荒木稚子 教授
流体力学	平原裕行 教授、姜東赫 准教授
材料工学	蔭山健介 教授、坂井建宣 教授
熱工学	小原哲郎 教授、前田慎市 准教授
機械要素	山本 浩 教授、成川輝真 准教授
生産環境	池野順一 教授、山田洋平 助教
設計工学	琴坂信哉 准教授、程島竜一 准教授
機械力学	渡邊鉄也 教授
制御工学	高崎正也 教授
ヒューマンインターフェイス	綿貫啓一 教授、楓 和憲 准教授
機械システム	長嶺拓夫 教授、田所千治 准教授
計測工学	原 正之 准教授

各指導教員の詳しい情報は、機械科学系専攻のホームページ <http://www.mech.saitama-u.ac.jp/> の研究案内を参照して下さい。

受験番号

※

令和 年 月 日

【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】

埼玉大学大学院理工学研究科[博士前期課程機械科学専攻]志望理由書

氏名 _____

1. 卒業研究等の内容に関して、研究の背景、目的、方法について記入してください。また、卒業研究を終了させている場合はその成果を、終了させていない場合には、今後の計画について以下の欄に記入してください。

--

2. 本専攻を志望する動機、希望する研究テーマ、研究に関する意欲、関心等について以下の欄に記入してください。

--

受験番号	※
------	---

【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】

埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程]

志 望 調 査 書

(地球環境における科学技術の応用と融合 PG 専用)

氏名 _____

1. 希望する指導教員名を下記から選んで記入して下さい。下記以外の教員を指導教員として希望する場合は1名のみ記入できます。複数の希望がある場合は第3希望まで記入できます。

希望順位	希望指導教員名
第1希望	
第2希望	
第3希望	

指導教員名	研究分野	所属専攻 (主担当 PG)
黒川 秀樹	触媒化学	物質科学 (応用化学)
王 青躍	循環システム	物質科学 (応用化学)
山根 敏	計測制御	数理電子情報 (電気電子物理工学)
門野 博史	計測制御	数理電子情報 (電気電子物理工学)
藤野 毅	生態環境	環境社会基盤 (環境社会基盤国際)
セナビラタナ ジャヤサンカ	生態環境	環境社会基盤 (環境社会基盤国際)
深堀 清隆	地域計画設計	環境社会基盤 (環境社会基盤国際)
小口 千明	地圏科学	環境社会基盤 (環境社会基盤国際)
川合 真紀	植物環境科学	生命科学 (分子生物学)
山口 雅利	植物環境科学	生命科学 (分子生物学)

2. 卒業研究の内容を記入して下さい。卒業研究を行っていない場合は大学での学習内容から最も関心の高かったものを記載して理由を書いて下さい (100字以内)。

--

3. 博士前期課程で取り組みたい研究テーマについて書いて下さい (100字以内)。

--

出願に先立ち希望指導教員 (第1希望) と十分相談をしました。

※相談が済んでいる場合はにチェックを入れてください。

受験番号

※

受験番号	※
------	---

受 験 許 可 書

氏 名

年 月 日生

上記の者が、【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】埼玉大学大学院理工学研究科
(博士前期課程) の入学試験を受験することを許可します。

令和 年 月 日

埼玉大学大学院理工学研究科長 殿

住 所

所属機関

所 属 長

印

埼玉大学大学院理工学研究科（博士前期課程）入試情報開示請求書

令和 年 月 日

埼玉大学大学院理工学研究科長 殿

申請者

郵便番号 _____

住 所 _____

氏 名 _____

電話番号 _____

下記のとおり、入学試験の成績について情報開示を申請します。

記

入 学 試 験 年 度	【令和5年4月入学】【令和4年秋期入学】入学試験
受 験 番 号	
出 願 課 程 ・ 専 攻 ・ P G	博士前期課程 専攻 PG
情報開示を申請する内容	入試成績の合計点

- (注) 1. 本人確認のため、受験票を同封してください。なお、受験票を紛失した場合は、本人を確認できる身分証明書等（運転免許証の写し、パスポートの顔写真及び住所の記載された箇所等の写し等）を同封してください。
返信用封筒（本人の住所・氏名を明記のうえ、簡易書留郵便 404 円分の切手を貼った長形 3 号「12cm×23.5cm」封筒）を同封してください。
2. 窓口で請求及び提供を受ける場合は、受験票を提示してください。この場合 404 円分の切手は不要となります。

埼玉大学記入欄

確 認	1. 受験票	受付番号
	2. 身分証明書 ()	
受理日 令和 年 月 日		

令和 年 月 日

埼玉大学大学院理工学研究科長 殿

【令和 5 年 4 月入学】 【令和 4 年秋期入学】

埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程]

入学試験出願資格個別審査申請書

私は、出願資格の個別審査を受けたいので、申請いたします。

出願資格	<p style="text-align: center;">※学生募集要項に記載の出願資格の何号で 出願するか記入してください。</p>
志望専攻・PG	<p style="text-align: right;">専 攻 PG</p>
フリガナ 氏 名	<p>.....</p>
フリガナ 現 住 所	<p>〒</p> <p style="text-align: right;">Tel () -</p>
フリガナ 連 絡 先	<p>〒</p> <p style="text-align: right;">Tel () -</p>
添付書類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 最終学校の「成績証明書」 2. 最終学校の「卒業・修了（見込）証明書」 3. 「入学希望理由書」 4. 「経 歴 書」

令和 年 月 日

【令和 5 年 4 月入学】 【令和 4 年秋期入学】
埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程]
経 歴 書

氏 名
性 別 男・女
生年月日 年 月 日生

○最終学歴

入学 年 月 く 卒業・修了（見込） 年 月	学校名
---------------------------------	-----

○上記以外の学修歴、職歴、実務経験歴及び活動歴等がある場合は、年代順に、その内容についても詳しく記入して下さい。

期 間 (年 月～年 月)	内 容

令和 年 月 日

【令和 5 年 4 月入学】 【令和 4 年秋期入学】
埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程]
入 学 希 望 理 由 書

氏 名 _____

埼玉大学大学院理工学研究科 [博士前期課程] _____ 専攻

_____ PG に別紙の理由により入学を希望します。

